

研究の名称

- ・香川県における重症熱性血小板減少症候群(SFTS)ウイルスの検出状況及び日本紅斑熱との臨床症状の比較について

研究の概要

- ・香川県のSFTSの発生状況を取りまとめ、全国と比較調査し情報を発信することにより注意喚起や予防対策に役立てる。また、日本紅斑熱と臨床所見を比較することにより、SFTSの診断の一助となるための知見を得る。さらに、SFTSウイルス遺伝子の分子疫学解析を実施し、データを収集することで、香川県のSFTSウイルス遺伝子型浸潤状況や流行傾向を分析する。

研究の期間

- ・令和2年度から令和4年度まで

使用する試料

- ・平成25年度から令和4年度に、行政検査にてSFTSウイルスの検査依頼があったすべての検体提供者及び行政検査にて日本紅斑熱の検査依頼があり陽性となった検体提供者

使用する情報

- ・行政検査で得られた遺伝子検査結果と本研究で得られた遺伝子解析情報
- ・診断名、採取年月日、臨床症状（発熱・消化器症状の有無、白血球数・血小板数・CRP・AST・ALT・LDH）、年齢、渡航歴、管轄保健所名

試料・情報の管理責任者

- ・香川県環境保健研究センター 微生物担当 有塚 真弓